

令和5年度気候変動適応地域づくり推進事業北海道地域業務 広域アクションプラン策定事業フォローアップ 報告

1. ヒアリング実施自治体

「令和4年度気候変動適応広域アクションプラン策定事業北海道地域業務」で作成した広域アクションプランの以下の関連自治体に向けて、社会実装上の課題等についてヒアリングを実施した。

- ・ 標茶町
- ・ 鶴居村
- ・ ニセコ町
- ・ 占冠村

2. ヒアリング結果

① 各自治体の適応策取組状況

各自治体の回答	
自治体内の適応の認知度・理解度の状況	高い：0/4 自治体 高まりつつある：2/4 自治体 低い：2/4 自治体
適応策検討に向けた体制は整っているか	整っている：0/4 自治体 整えている途中：2/4 自治体 整っていない：2/4 自治体
適応策の検討状況	進んでいる：0/4 自治体 進んでいない：4/4 自治体

- ・ 2023年、夏の気温が高かったことで急激に適応への意識が高まった。(複数)
- ・ 学校へのエアコンの設置など、熱中症対策は早急に取り組んでいる最中。(複数)
- ・ 適応と掲げてはいないものの、検討中の別計画にて適応につながる可能性もある。

② 広域アクションプランの効果について

気候変動適応広域アクションプラン策定事業や広域協議会へ参画したことについて

各自治体の回答	
適応への意識が高まった	そう思う：1/4 自治体 少し思う：2/4 自治体 あまり思わない：1/4 自治体 思わない：0/4 自治体

適応の知識や情報を得られた	そう思う：2/4 自治体 少し思う：1/4 自治体 あまり思わない：1/4 自治体 思わない：0/4 自治体
いずれ適応策を計画する際の前データを得られた	そう思う：0/4 自治体 少し思う：1/4 自治体 あまり思わない：1/4 自治体 思わない：0/4 自治体
庁内他部局の適応への理解が広まった	そう思う：0/4 自治体 少し思う：1/4 自治体 あまり思わない：3/4 自治体 思わない：0/4 自治体

- ・ 身近に感じにくい気候変動について、将来の姿を知り明確な危機感を持つきっかけとなった。(複数)
- ・ 知識や情報に加え、専門家との関わり持てる貴重な機会となった。
- ・ 適応策のみならず今後他の計画を進める際もアクションプランで得られた知見を活かして他部局と話を進めることができる。
- ・ 他自治体の取り組み事例の情報を得ることができた。

③ 広域アクションプランの社会実装上の問題点や必要な支援について

各自治体の回答	
広域アクションプランの認知度	高い：0/4 自治体 高くなってきた：0/4 自治体 あまり高くない：3/4 自治体 低い：1/4 自治体
広域アクションは有用か	そう思う：0/4 自治体 少し思う：2/4 自治体 あまり思わない：2/4 自治体 思わない：0/4 自治体

- ・ 事業者の理解が必要不可欠であり、自治体のみでの取り組みでは難しい内容が含まれている。(複数)
- ・ 自治体内に所有者不明の森林が多く、管理が難しい。
- ・ 環境に関すること全般、部局間での温度差が大きく、目の前の課題に取り組むことで手一杯となり、適応の優先順位を高くして取り組むことが難しい現状がある。

- 自治体内外に発信する際の説明に役立つ定量的な評価や情報が必要。
- 具体的な将来の姿を知ることができ、行動変容に繋がる情報の発信が必要。
- ・ 専門家からの支援やアドバイスがあると、始動時のハードルが下がる。
- ・ 働き手の確保に加え、技術者の継続的な育成等が必要である。

3. 結果まとめ

- 適応策の検討は進んでいなくとも、学校へのエアコン設置などの熱中症対策において、適応の取り組みを実施している自治体が多い。
- 国内の似た事例の紹介や将来予測の情報が増えると良い。
 - ・ 具体的な将来の姿を知り、行動変容に繋げるため。
 - ・ 気候が類似している、または地形や規模が似ている地域の事例を参考とするため。
- 海外の先進的な取り組みの情報が増えると良い。
 - ・ 事業者の理解の促進に繋げ、協力を得るため。
- 適応にも繋がる、他の施策についての情報があると良い。
 - ・ 適応が、自然と共生できる観光やシティプロモーションに繋がればなお良い。
 - ・ 移住や関係人口の増加により、働き手や技術者の人材確保をしたい。